

FRENSON JUNIOR CUP 2025

第39回全国中学校高等学校オリエンテーリング選手権大会

Bulletin 3.1

併設向け





大会概要

正式名称	FRENSON OPEN 2025
	第 39 回全国中学校高等学校オリエンテーリング選手権大会 オープン競技
開催日	2025 年 9 月 27 日(土)、9 月 28 日(日)
開催地	栃木県塩谷郡塩谷町
会場	塩谷町自然休養村センター
主催	全国高校生中学生オリエンテーリング連盟
主管	全国高校生中学生オリエンテーリング連盟 OS 会
協賛	FRENSON
	SALMING
	SIGN
	多摩オリエンテーリングクラブ
後援	日本学生オリエンテーリング連盟
	関東学生オリエンテーリング連盟
	公益社団法人日本オリエンテーリング協会
	栃木県オリエンテーリング協会
適用規則	全国中学校高等学校オリエンテーリング選手権大会開催基準
実行委員会	実行委員長 福嶋崇
	競技責任者 中村涼太
	運営責任者 佐藤仁
	コースプランナー 尾藤碩
	イベントアドバイザー 高村卓
	(その他役員多数)



WELCOME TO JHOC 2025



第39回全国中学校・高等学校オリエンテーリング選手権大会にご参加いただき、誠にありがとうございます。本大会は、中高生の皆さんが自らの力を試し、仲間と切磋琢磨しながら成長できる貴重な舞台です。主役は参加する一人ひとりの選手であり、その努力と挑戦が大会を形づくります。

今大会は開催地の変更という大きな調整を経て、栃木県熊ノ木での開催に至りました。急な変更にもかかわらずご理解とご協力をいただいた参加者・保護者の皆さま、そして関係者の方々に心より感謝申し上げます。

どうか本大会が、皆さんにとって忘れられない経験となり、オリエンテーリングの魅力さをさらに深める機会となることを願っています。選手の皆さんの健闘を期待しています。

福嶋 崇

第39回全国中高オリエンテーリング選手権大会 実行委員長



第39回全国中学校高等学校オリエンテーリング選手権大会を、栃木県塩谷郡塩谷町で開催する運びとなりました。主催者を代表してご挨拶申し上げます。

さて、本大会は国内唯一の中学生・高校生の全国一を決める大会です。選手の皆さんの多くがこの大会に向けて日々の部活動や練習を欠かさず、研鑽を積んできたことと思います。皆さんの今までの努力を実らせるために存分に力を発揮し、自身が目標とするところまで達し、さらに高いところを目指せるようになることを心から願っております。この大会を、オリエンテーリングを、存分に楽しんでもらえたらと思います。

そのために、本大会に「また参加したい」と思っていただけのように、そしてオリエンテーリングの楽しさ・面白さを感じていただけるように、中高生の輪がもっと広がるように、全力で準備を進めて参ります。

最後になりますが、本大会にご協賛いただきました FRENSON 様、Salming 様、SIGN 様、多摩オリエンテーリングクラブ様、に御礼申し上げます。また、本大会を応援してくださっている皆さまにも御礼申し上げます。以上で、会長挨拶とさせていただきます。

森 創之介

全国高校生中学生オリエンテーリング連盟 会長



1.大会スケジュール

9月27日(土) 個人競技	9月28日(日) 団体競技
9:20 バス1便 駅発(2台) (到着 9:50)	7:00 バス1便 駅発(1台) (到着 7:30)
9:30 会場開場	8:10 バス2便 駅発(1台) (到着 8:40)
10:00 待機所行きバス1便 会場発(1台) (到着 10:10)	9:00 バス3便 駅発(1台) (到着 9:30)
10:30 バス2便 駅発(1台) (到着 11:00) OPEN トップスタート	9:45 デモンストレーション開始
11:10 待機所行バス2便 会場発(1台) (到着 11:20)	10:20 RLスタート
14:30 表彰式	10:25 RM・RSスタート
15:00 フィニッシュ閉鎖	10:30 OL・OM・OSスタート
15:40 バス1便 会場発(2台) (到着 16:10)	13:00 表彰式
16:40 バス2便 会場発(1台) (到着 17:10)	13:20 リスタート
	14:30 バス1便 会場発(1台) (到着 15:00)
	15:00 フィニッシュ閉鎖
	15:50 バス2便 会場発(1台) (到着 16:20)

2.交通・会場案内

○会場

塩谷町自然休養村センターグラウンド ([Google Maps](#))

〒329-2213 栃木県塩谷郡塩谷町熊ノ木987-2

○トイレ

グラウンド、駐車場にあるトイレ、または塩谷町自然休養村センター本館のトイレ(1階のみ)をご利用いただけます。本館のトイレをご利用の際は必ず靴を脱いでください。

○アクセス

【自動車での来場】

駐車場:塩谷町役場

([Google Maps](#))

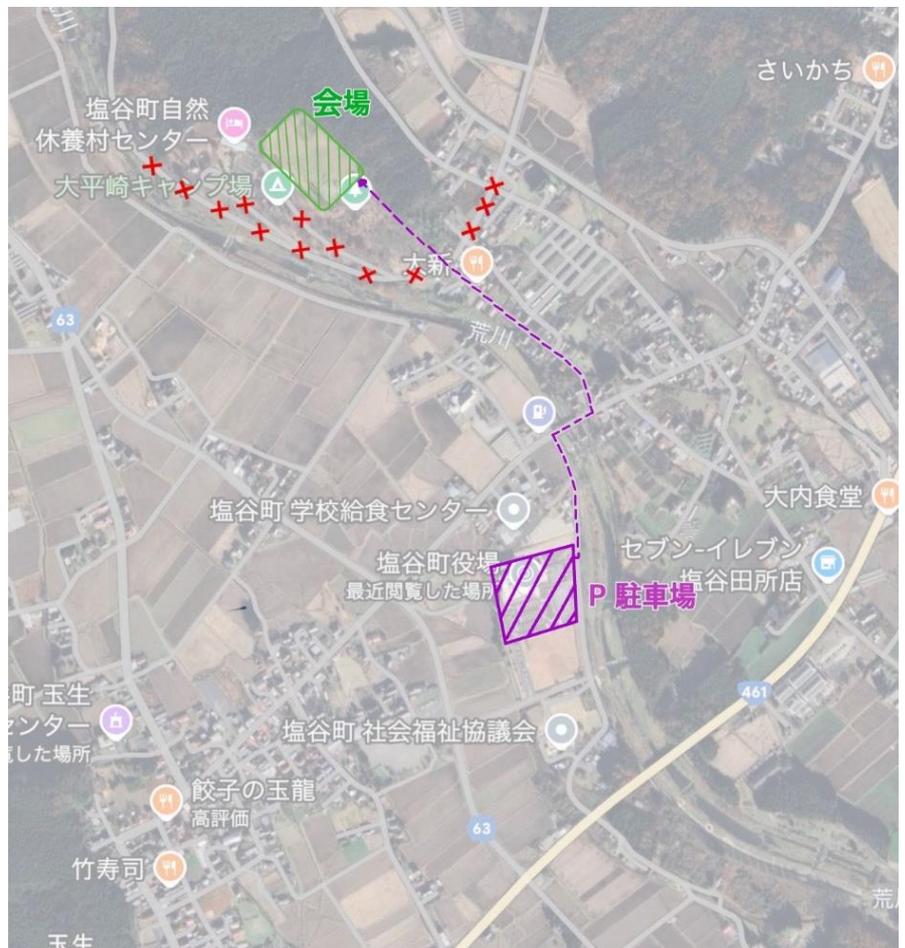
アクセス:東北自動車道 上河内スマートICより一般道 20分程度

駐車場から会場まで徒歩約 20分

・具体的な経路は右図の紫破線で示されていますとおりです。

・役員の指示に従っての駐車をお願いします。

・会場並びに周辺道路への車の乗りつけは禁止といたします。



(Google Maps を加工して作成)



【公共交通機関＋輸送バスでの来場】

個人戦・団体戦両日、JR 矢板駅東口から、競技会場まで、バス輸送を実施いたします。バスの時刻表は以下の通りです。

9月27日 行き

	矢板駅発	会場着
1 便	9:20	9:50
2 便	10:30	11:00

9月27日 帰り

	会場発	矢板駅着
1 便	14:40	15:10
2 便	15:40	16:10
3 便	16:40	17:10

9月28日 行き

	矢板駅発	会場着	備考
1 便	7:00	7:30	可能な方は本便をご利用ください
2 便	8:10	8:40	選手権、オープン問わず1走の方優先
3 便	9:00	9:30	—

9月28日 帰り

	会場発	矢板駅着	備考
1 便	14:30	15:00	優先対象者優先便、その他は先着順
2 便	15:50	16:20	—

・バス乗降場から会場へは、グラウンド入口の階段をまっすぐ上ってお越してください。

・競技時間以外は、駐車場と会場間を移動する道、ウォーミングアップエリア、観戦エリア以外の場所への立入を禁止します。許可を得ていない立入が発見された場合、所属する団体全員が失格となることがあります。



3. 競技情報

○競技形式

ポイント・オリエンテーリング

9月27日 フォレスト**個人競技** ミドル・ディスタンス競技

9月28日 フォレスト**団体競技** 3名によるリレー競技

○使用地図 「塩谷熊ノ木」 ([旧図リンク](#))

縮尺：1:10000

等高線間隔：5m

地図図式：ISOM2017-2 準拠

○トレインプロフィール

本トレインは、塩谷町東部の平野に程近い里山に位置する。標高は200～400mであり、全体として緩やかな傾斜が特徴である。内部の地形は中央の耕作地や牧場を境に大きく3つのエリアに分かれており、それぞれが異なる様相を呈している。トレイン内は全体的に藪が発達しているため、走行が著しく困難になるエリアが存在する。しかし、一部にはスピードを十分に出して走れるエリアもあり、緩急の変化に富んだ素晴らしいトレインと言える。(ICMR2015 要項 3.3 より引用、改変)

○コースプロフィール

ミドル・リレー共に、スピードを維持しながらの正確なナビゲーション能力と、あらゆる現地状況—藪、登坂、野生動物—にも決して動じないタフさを要求する、トレインの特性を存分に活かした渾身のコースとなった。まだ誰も見たことがない『塩谷熊ノ木』があなたを待っている。

○コントロール位置説明表

・コントロール位置説明はISCD2024に準拠します。サイズは、縦150mm、横60mmを超えない大きさとなります。

・団体競技においてコントロール位置説明表の配布はございません。

○計時システム

SPORTident 社製電子パンチングシステム使用



- ・タッチフリー非対応の SI カードを使用します。
- ・レンタル SI カードを紛失された場合は弁償として 10000 円いただきます。
- ・タッチフリー対応のマイ SIAC で申し込みをされた方も、ステーションへの差し込みが必要です。
- ・SI ステーションにカードを差し込んでも反応しない場合には、コントロールに付属しているピンパンチで地図のリザーブ欄にパンチをして、フィニッシュ後計算センターにて申告してください。ただし、SI ステーション、および SI カードに不調がない場合にはこのパンチでの通過証明は認められません。

○服装・装備に関する注意

- ・本大会は主に森林内での競技となります。枝や藪による外傷の軽減や、会場周辺に自生するかぶれる恐れのある植物への対策、さらにトレイン内で確認されているマダニへの対策として、**長袖・長ズボンなど肌を覆った服装での出走を推奨**いたします。
- ・GPS端末(腕時計など)は、競技中に地図や距離の表示が見られない状態である場合に限り、携行できます。
- ・**安全確保のため、すべての参加者に熊鈴の携行を義務付けます。**熊鈴をお持ちでない場合は、出走を認めません。熊鈴は本部および選手権待機所にて貸出を行っております。熊対策の詳細につきましては、プログラム後方に記載しておりますので、必ずご確認ください。
- ・ナビゲーション目的でのスマートフォン等の持ち込みは不可となります。電源を切った状態のみ、携行を許可いたします。紛失・水没などの事故があっても主催者は責任を持ちません。緊急連絡先電話番号は地図に記載があります。

○異議申立

- ・**9月27日**の個人競技の日に限り、全クラスから調査依頼、提訴を受け付けます。会場受付に用意する所定の用紙「調査依頼用紙」に記入して届け出てください。調査依頼、提訴に関しては規則等に則ります。調査依頼に対する主催者の判断結果は、調査依頼を行った競技者に通知し、会場受付横に掲示します。
- ・提訴については後日大会公式 HP と公式掲示板にてお知らせいたします。
- ・調査依頼には次の期限を設けます。
特定選手の成績に関する内容 : 当該選手のフィニッシュの 20 分後
その他の内容 : フィニッシュ閉鎖時刻の 20 分後



○競技上のリスクと対策

熱中症

- ・高温の環境下で運動を続け、水分・塩分が不足することで、熱中症の症状が現れる可能性があります。主催者側で、給水所・救護所を設ける予定ですが、競技者自身でのこまめな水分補給・塩分タブレット等の携行を推奨します。
- ・希望者は出走前に、選手権待機所、会場のグラウンドの両方にて、水道を利用して頭から水を浴びることができます。必要に応じてご利用ください。
- ・選手権の方は、会場のグラウンドではなく、選手権待機所の水道をご利用ください。

道迷い・遭難

現在地を見失いナビゲーションへの復帰が困難になった場合、上記を含む様々なリスクを高めることとなります。事前に旧図や地形図を確認して、トレイン内の地形や道路などの構造を把握しておきましょう。また、周囲の大きな道路や林道に出ることで、比較的容易に現在地を把握できる可能性があります。詳細は発行物「リスクマネジメント資料」を併せてご確認ください。

○気候

気象観測所「塩谷」にて観測された、過去5年の9月27日の気象情報を掲載します。大会当日が真夏日となる可能性もあります。熱中症対策には万全を期しますが、選手各位においても十分注意してください。

会場「塩谷町自然休養村センター」は、気象観測所「塩谷」から南東へ4.2km、標高が68m低いところに位置しています。

年	最大雨量 (mm/h)	最高気温 (℃)	最低気温 (℃)
2020	1.0	21.4	13.4
2021	0.0	22.4	13.3
2022	0.0	26.7	17.9
2023	1.0	23.9	18.6
2024	0.0	26.3	18.3

○大会または競技の中止判断

大会中止

- ・重大な災害などにより大会の開催が困難な場合や、選手の来場に危険が伴う場合には、**9月26日朝6時まで**に大会中止の判断を行い、大会WebサイトならびにSlackにて告知します。

競技の中止(事前)

- ・海上や海岸を対象とするものを除く気象警報・特別警報が発令されている場合、土砂災害警戒情報など警報に相当する情報が発表されている場合や、競技区域内の危険な気象現象を確認した場合は競技を中止します。

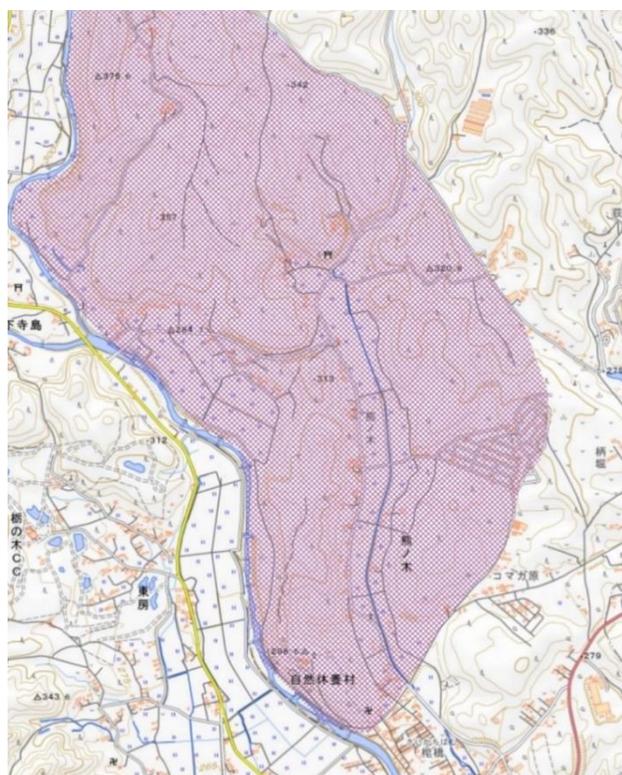
競技の中止(競技中)

- ・競技中に気象上の中止の条件に該当した場合や、毒性あるいは獐猛性がある生物により競技の安全な進行が困難である場合には、競技を中止します。
- ・熊が出没した場合、その日の競技は中止とさせていただきます。熊対策につきましては、[7.熊対策について](#)をご確認ください。

○立入禁止区域

本大会当日まで、下図斜線部競技エリアへの立入を禁止します。

外周道路の使用並びに地図内の道路の利用もできません。



国土地理院地図を加工して作成

また、「塩谷町自然休養村センター」の施設利用を大会当日まで禁止します。

○装備のレンタル

コンパス、熊鈴の貸出は無償にて行います。ただし、破損もしくは紛失が確認された場合には、弁償代として、コンパスは 3000 円、熊鈴は 1000 円を参加費入金口座へご入金いただきます。貸出場所は、本部(受付)といたします。

4.一日目 個人競技の流れ

○会場レイアウト



・会場は図のようになります。渡過点には係員が常駐しております。横断の際は係員の指示に従ってください。

・トイレは3か所ございます。休養村のトイレをご利用の際は必ず靴を脱ぎ、土などで床を汚さないように配慮をお願いいたします。また休養村のトイレは一階のみご利用いただけます。

○受付

・参加者は会場内の受付にて配布物を受け取ってください。

配布物内容： ナンバーカード、レンタルSIカード、大会Tシャツ(申込の方のみ)

※ナンバーカードを留めるための安全ピンは、各自でご用意ください。忘れた場合には大会本部に申し出てください。

- ・受付ではその他、異議申立の受付および備品(コンパス、熊鈴)の貸出を行っております。
- ・ナンバーカードはクラス別スタート順に積んであります。
- ・レンタルSIカードは管理No.順に並んでいます。



○スタートまでの流れ

- ・会場からスタート地区までは距離 2.4km、↑10m、徒歩約 40 分となります。スタート地区までの誘導は地図による誘導により行います。
- ・スタート時刻は別紙発行物のスタートリストにて事前に指定しております。あらかじめ自身のスタート時刻を確認し、3 分前までにスタート地区へお越しください。
- ・スタート形式はパンチングスタートとなります。スタートの合図があるまでカードをステーションに差し込まないように注意してください。スタート時のパンチを怠った選手は失格となります。

【スタート 3 分前まで】

スタート地区でSIカードのクリアおよびチェックを行ってください。

【3 分前】

役員がゼッケン番号とSIカード番号を確認します。確認後、指定されたレーンの 3 分前枠に入ってください。

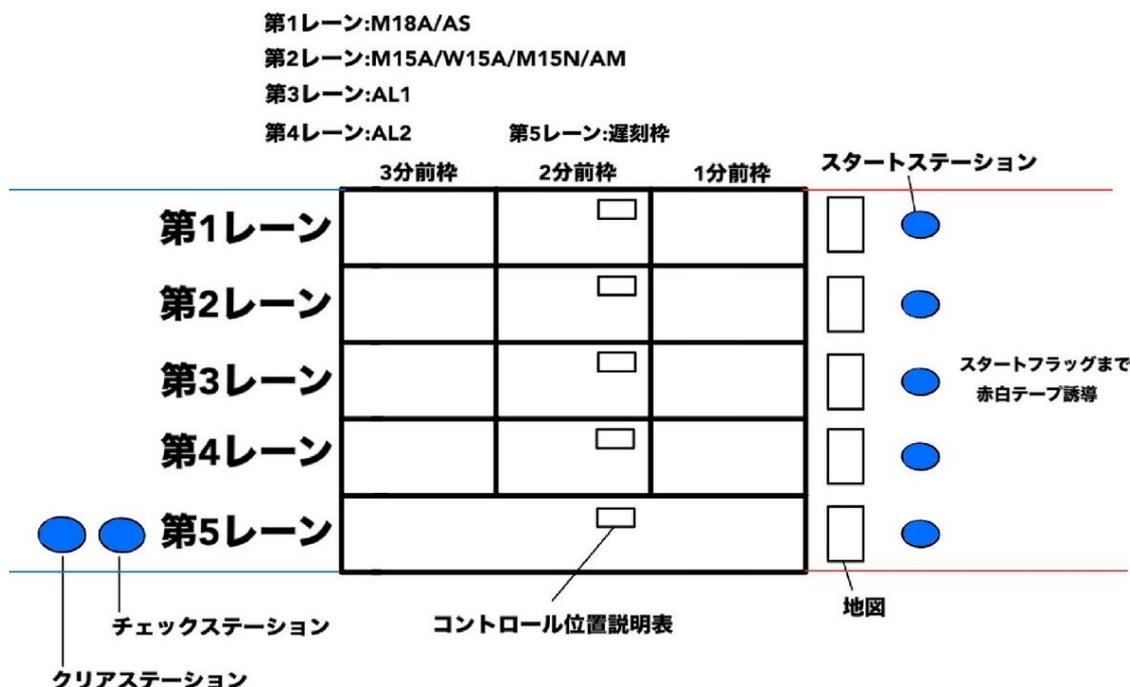
【2 分前】

コントロール位置説明表を配布します。ご自由にお取りください。

【1 分前】

スタートチャイマーの合図とともに地図を取り、SI カードをスタートステーションに差し込んでスタートしてください。

併設スタート地区





○競技中

- ・競技中には給水・救護地点を設けます。コース中での位置については「コース情報」をご確認ください。
- ・全クラスの競技中において、中高生の一部クラスにて使われている赤白テープによる誘導区域を視認する可能性があります。

○フィニッシュ

- ・最終コントロールからは赤白テープ誘導に従って進んで下さい。これに従わなかった場合は失格とします。
- ・フィニッシュステーションにSIカードを差し込み、フィニッシュしてください。
- ・一度スタートした選手は必ずフィニッシュを通過するか、何らかの方法でSIカードを計算センターに提出してください。記録の読み取りを行った後、翌日も競技に参加する選手はSIカードをご自身で保管してください。レンタルSIカードを紛失された場合は弁償として10000円いただきます。単日のみ参加の方については、SIカードを回収いたします。
- ・SIカードを提出できない選手は失格とします。

○計算センター

- ・フィニッシュした順番でSIカードの読み取りを行ってください。失格の場合はその理由を通告します。何らかの理由でリザーブのピンパンチを使用した場合は、読み取りの際に申告してください。後からの申し出は一切受け付けません。
- ・地図回収は行いませんが、スタート前の選手に地図を見せることは固く禁止します。発覚した場合、失格とする可能性があります。

○表彰式

- ・以下の表彰対象者が確定し次第、会場にて表彰式を行います。表彰対象者は以下の通りです。

AL/AM/AS クラス:上位3名



○競技情報

コース情報

クラス	距離[km]	登距離[m]	優勝設定時間	給水地点(%)
AL1	4.7	230	35分	65
AL2	4.6	230	35分	65
AM	3.5	170	35分	50
AS	3.1	155	35分	45

・AL クラスは申込人数多数のため 2 クラスに分割しております。

競技時間・フィニッシュ閉鎖

・競技時間は 100 分、フィニッシュ閉鎖時刻は 15:00 です。競技時間は競技者の安全を守るために設定されている時間です。競技時間を超えた場合は失格となり、大会開催中であっても運営者が検索に入る可能性があります。競技の途中であっても直ちに競技を中断し、速やかにフィニッシュへ向かってください。

・フィニッシュ閉鎖時刻までにフィニッシュを通過していない選手は、遭難者として扱われ検索の対象となります。**状況によらず警察に検索を依頼します。**必ずフィニッシュ閉鎖時刻を守るよう、お願いいたします。

5.二日目 団体競技の流れ

○会場レイアウト



- ・会場は図のようになります。渡過点には係員が常駐しております。横断の際は係員の指示に従ってください。
- ・計時線はフィニッシュでございます。チェンジオーバーは赤矢印が向かい合っているエリアで行います。

○受付

- ・参加者は会場内の受付にて配布物を受け取ってください。

配布物： ナンバーカード、競技用地図

- ・競技用地図はテープで閉じてあります。競技開始まで絶対に開かないでください。故意または重



大な過失により競技前に開いた場合は失格とします。

・受付では、オーダー登録を受け付けています。また、装備のレンタル、事前販売の地図の受け取りを行っています。

○ウォームアップエリア

ウォーミングアップエリアは本部を挟んでシートエリアの反対側にございます。詳細は会場レイアウト図をご確認ください。

○デモンストレーション

・デモンストレーションは 9:45 開始となります。スタート位置、前走者の来る方向、チェンジオーバーの方法、次走者の進行方向、フィニッシュの位置や方法などを確認します。

○スタート

・それぞれのクラスのスタート時刻は右の表のようになります。

・第 1 走者は、スタート時刻の 5 分前までにクリアチェックを済ませてスタートレーンに入り整列してください。クリアチェックを怠った選手は失格となります。

・スタートの合図は号砲によって行います。

クラス	スタート時刻
RL	10:20
RM	10:25
RS	10:25
OL	10:30
OM	10:30
OS	10:30

○競技中

・競技中の誘導はすべて赤白テープによって行います。詳細は公式掲示板をご確認ください。

・競技中には給水・救護地点を設けます。**コース中での位置については「コース情報」をご確認ください。**

○チェンジオーバー

・本競技においてスペクテーターズレーンはありません。前走選手の接近情報はライブ速報にて行います。ただし、不具合や通信状況により速報が反映されない場合があるので、必ず選手自身でも競技の進行状況を注視し、前走者のフィニッシュに遅れないように待機枠に向かってください。

・第 2 ラジコン通過から最速 5 分、会場内グラウンドに姿を現してから最速 1 分にてフィニッシュします。

・次走者は待機枠に入る際、SI カードのクリア・チェックを必ず行ってください。SI カードのクリア・

チェックを怠った場合は失格となります。

- ・チェンジオーバーは前走者と次走者の身体の接触により成立します。
- ・前走者はチェンジオーバー後、速やかにフィニッシュステーションをパンチしてください。フィニッシュステーションにパンチしなかった者は失格とします。また、第1・第2走者であり、チェンジオーバーをせずにチェンジオーバーゾーンを通過したものは、競技を終了したものとみなします。
- ・次走者はチェンジオーバー後に地図を開いてください。チェンジオーバー前に地図を開いた場合は失格とします。
- ・チェンジオーバーは赤矢印が向かい合っているエリアで行います。



○リスタート

- ・13:20 時点での未出走者は、この時刻をもってマス・スタートとします(リスタート)。リスタートの対象者は、13:15 までに次走者待機枠に入ってください。
- ・待機枠に入る際、SIカードのクリア・チェックを必ず行ってください。SIカードのクリア・チェックを怠った場合は失格とします。スタートの合図は号砲によって行います。
- ・招集後もスタートの合図があるまでは、前走者とのチェンジオーバーを認めます。

○フィニッシュ

- ・一度スタートした選手は必ずフィニッシュを通過するか、何らかの方法でSIカードをフィニッシュに提出してください。提出がない場合は未帰還者として搜索の対象となります。



- ・最終コントロールからフィニッシュまでは赤白テープ誘導に従って進んでください。
- ・フィニッシュ後は追い越し禁止とします。
- ・リレークラスでは、フィニッシュラインの通過順が順位となります。個人クラスでは、フィニッシュステーションのパンチ順が順位となります。フィニッシュラインの通過後、フィニッシュ順にフィニッシュステーションをパンチしてください。また、役員の指示がある場合は従ってください。
- ・フィニッシュステーションにパンチしなかった選手、役員の指示に従わなかった選手は失格とします。
- ・役員の指示があった場合は、SIカードを提出してください。提出できない場合は失格とします。

○計算センター

- ・フィニッシュステーションにパンチした後、パンチした順番で計算センターを通過してください。失格の場合はその理由を通告します。
- ・何らかの理由でリザーブのピンパンチを使用した場合は、読み取りの際に申告してください。後からの申し出は一切受けません。

○地図回収

- ・リレー競技参加者のみ、地図回収を行います。フィニッシュ後、係員の指示に従って地図を提出してください。

○表彰式・閉会式

- ・13:00 より、会場にて表彰式と閉会式を行います。表彰対象者は以下の通りです。

RL/RM/RS クラス:上位 3 チーム

OL/OM/OS クラス:上位 3 人



○競技情報

コース情報

クラス	距離[km]	登距離[m]	優勝設定時間	給水地点(%)
RL	4.8-4.9	210-215	135	65
RM	4.2-4.3	190-195	135	60
RS	3.1-3.2	140-145	135	50
OL	4.8	210	40	65
OM	4.2	190	40	60
OS	3.1	140	40	50

競技時間・フィニッシュ閉鎖

・競技時間は 270 分、フィニッシュ閉鎖は 15:00 となります。競技時間は競技者の安全を守るために設定されている時間です。競技時間を超えた場合は失格となり、大会開催中であっても運営者が捜索に入る可能性があります。競技の途中であっても直ちに競技を中断し、速やかにフィニッシュへ向かってください。

・フィニッシュ閉鎖時刻までにフィニッシュを通過していない選手は、遭難者として扱われ捜索の対象となります。**状況によらず警察に捜索を依頼します。**必ずフィニッシュ閉鎖時刻を守るよう、お願いいたします。

・帰りのバス 1 便は 14:30 発となっておりますので、ご利用予定の方は乗り遅れのないようご注意ください。



6.その他

○保険

・本大会には傷害保険、個人賠償責任保険が適用されます。補償内容については実行委員会までお問合せください。

○アンチ・ドーピング

・本大会は、IOF アンチ・ドーピング規程および世界アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。

・本大会参加者(18歳未満の競技者を含む)は、エントリー時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本大会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。

○地図販売・協賛品販売・大会 T シャツ販売

・本大会における地図販売は事前申し込みのみとなっております。事前に地図を購入された方は、以下の時間内に受付にて地図をお受け取りください。何らかの事情により所定時間内での受け取りが困難な方は、予め受付にて申し出てください。

1日目 14:00～14:30

2日目 12:30～13:00

・本部テント脇にて、協賛である FRENSON・SIGN・SALMING各ブランドの商品を販売します。**支払い方法は現金のみとなります。**予めご了承ください。

・大会本部にて、大会 T シャツを先着順で当日販売いたします。在庫は M サイズ 2 枚、L サイズ 2 枚です。事前申込のない方で当日購入を希望される方は、お早めに大会本部までお越しください。

○演出

実況について

・会場、ラップセンターのライブ速報、[大会公式X](#)にて実況を実施します。是非とも耳を傾けてください。実況を望まない選手は実行委員会までその旨お伝えください。

写真・動画の撮影について

・会場やテレイン内にて、実行委員会又は本大会の公式カメラマンによる大会の風景、人物の撮影



を行います。撮影された選手の写真・動画は本大会および第40回大会以降の広報に使用する場合があります。

・撮影や広報での使用を望まない選手は、事前に公式メール宛てに連絡をお願いします。

○デブ選手への配慮について

本大会の当日における緊急情報や事務的な内容の伝達にはLINEオープンチャットを利用します。以下のリンクから事前にご登録をお願いします。

[🔗 オープンチャット「FRENSON JUNIOR CUP / OPEN 2025」](#)

7.熊対策について

・第39回全国中学校高等学校オリエンテーリング選手権大会(以下、本大会)の開催地である「塩谷熊ノ木」周辺では、過去にクマの目撃情報が報告されています。クマは広範囲を移動する動物であるため、競技エリアにおいても出没の可能性を完全に排除することはできません。

・ただし、競技エリアは道路に囲まれた比較的小規模な山塊であり、生息確認や追い払いなどの対策が実施可能です。そのため実行委員会では、大会前日より音を用いた追い払い作業を行い、可能な限りの安全対策を講じたうえで大会を実施いたします。

・なお、本大会では前々年度より「中高生のためのリスクマネジメント資料」を発行し、参加者が安全に競技へ臨めるよう取り組んでまいりました。今大会においても、オリエンテーリング競技に伴う様々なリスクに加え、クマに関するリスクについても十分に対策を行い、慎重に大会を進めます。

・安全確保のため、**すべての参加者に熊鈴の携行を義務づけます。**

・**大会前日から当日の準備中または競技中にクマの目撃があった場合には、安全を最優先とし、大会を中止といたします。**

・万一熊を発見してしまった場合、直ちに競技を中断し、選手権待機所、救護所、フィニッシュのいずれか近いところに速やかに向かってください。それぞれの場所は競技で使用される地図の裏面に記載がございます。自分の身の安全を第一に動いてください。

・熊が出没した場合、その日の競技は中止とさせていただきます。その場合ホイッスルを鳴らし続け、一部のコントロールユニットには袋をかぶせます。気が付いたら速やかに選手権待機所、救護所、フィニッシュのいずれかに向かってください。

・地図の裏に緊急連絡先、広域地図を掲載いたしますので、緊急の際はご活用ください。



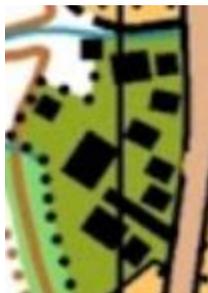
- ・SIカードを用いて全員の帰還を確認します。会場に着いたら速やかに計算センターでチェックを行ってください。随時未帰還者リストを掲載しますので未帰還者の管理にご協力お願いいたします。
- ・本大会に参加するにあたり、クマのリスクおよび遭遇時の対応方法について、加盟員単位または個人で事前に学習することを必須とします。以下の資料等をご参照ください。

○資料

- ① ツキノワグマの人身事故リスク管理の考え方
- ② ツキノワグマによる人身被害を防ぐために
- ③ クマと遭遇した際にとるべき行動

8. 諸注意

・トレイン内では耕作地や民家の敷地などの地図に示された立入禁止区域には絶対に立ち入らないください。ルートによっては立入禁止区域を通ることとなりますが、立入禁止区域に侵入した場合、学校単位で失格となる可能性があります。万が一立入禁止区域に侵入してしまった場合はすみやかに本部に連絡してください。耕作地や民家の敷地は以下の地図様式にて示されています。



【私有地・民家】



【耕作地】

・競技中に車の通行する道路を横断する箇所があります。会場付近では役員の誘導に従って十分お気を付けてください。

・ゼッケンは一枚につき安全ピンを4個使用し、腹部の位置に水平につけてください。背中に着けたり、ゼッケンが最も外側に来るように着用されていない場合、出走することはできません。

・会場は青空会場のため、雨天時に雨宿りができるスペースを全く確保することができません。各自で雨具を準備するなどの対応をよろしくお願いします。

・競技時間中にトイレなどへ向かう際は、競技中の選手を妨害することがないように、十分注意してください。

・会場付近を移動の際には、歩道を広がって歩くことのないようにしてください。過去の大会で注意をうけていることですので、十分注意してください。

・ピン付きシューズによる出走を妨げません。

・会場内ではペグを用いたタープやテントを設営、利用できます。撤収の際に必ず忘れ物が残らないようにご注意ください。



9. 実行委員会

○問い合わせ

大会 Web サイト <https://jhoc.jhof.jp/39th>

大会 SNS X : [JHOC staff](#)

お問い合わせ 本大会に関するお問い合わせは以下のメールアドレスまでお寄せください。

cs.39th.jhoc@jhof.jp

電話番号 080-2673-1428 (競技責任者)

080-3432-2009 (運営責任者)

○役員 (五十音順)

石塚陽広	稲川陸	漆谷勇希	奥村慎	梶本和	草谷将吾
久米慧	黒田悠悟	小林透哉	小林亮太	佐々木結佳	佐藤仁
佐藤慶明	佐原知樹	鈴木颯太	鈴木秀明	諏訪美海	谷悠芦
田谷夏姫	中嶋伸哉	中村涼太	尾藤碩	福嶋崇	町田涼介
溝端昭子	村中達	森下謙	山本美沙	吉岡皆那人	

中高連会長 森 創之介

中高連大会委員会 友田 賢吾

中高連大会委員会 仁多見 剛

中高連大会委員会 早川 正真

中高連大会委員会 西村 直哉

大会イベントアドバイザー 高村 卓

日本学連インタビュー企画

みちしるべ

学生 × 社会人

社会人オリエンティアに素朴な疑問を聞いてみよう!



インタビュー記事はこちらから↓

https://note.com/o_michishirube

ポットキャストも配信中です↓

<https://anchor.fm/o-michishirube>

学生インタビューー随時募集中!興味のある方は日本学連まで

 note



アスリートとサポートスタッフのみなさんへ。

なぜ、私たちにとって、アンチ・ドーピングの
知識や活動が必要なのでしょうか？

アンチ・ドーピングは、たんに
「不正する人を見つけ、不当な勝利を防ぐ」ための活動ではありません。

アンチ・ドーピングは、スポーツを成り立たせている
「みんながフェアであること」を守るためにあります。
全員がフェアでなければ、そもそもスポーツは成り立たない。
すべての人が、スポーツに参加し、公平に競い合うことができる。
その権利を守るために、アンチ・ドーピング活動があります。

そして、もうひとつ。アンチ・ドーピングは、
「スポーツが生み出す価値」を守るためにあります。
挑戦する心、相手へのリスペクト、そこから生まれる友情、
そんな、社会にとっても大切な価値を守るためにあります。

フェアであることを守り、スポーツの価値を守る。
そのいちばん中心となるのが、アスリートとサポートスタッフのみなさんです。
みなさんが、フェアであることをつねに誇りに思い、
その大切さを、世の中に示すこと。
それこそが、スポーツの発展を支え、よりよい社会をつくる力になります。

フェアであることの誇りを胸に、素晴らしいスポーツの価値を、
ともに広めていきましょう。



勝利を超える価値がある

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構